

富士のふもと山中湖村農泊推進議会

- 富士山に最も近い湖である山中湖を舞台に「農泊」を主軸とした新たなツーリズムを創出し、様々な情勢の変化にも強い組織と事業形態を構築する。
- 生業に繋がる体験プログラムを提供することで、不足する担い手の確保や、耕作放棄地の解消など、地域が抱える社会的課題の解決を目指す。

山梨県山中湖村



【採択年度】
令和3年度

【事業実施期間】
令和3～4年度

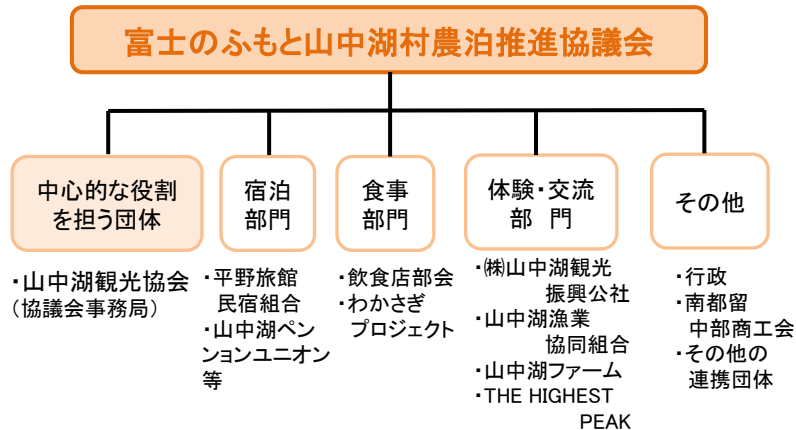


花の都公園からの風景



山中湖上で行われる
体験風景

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 富士山に一番近い湖で行われるぶどうづくり体験や特産であるわかさぎ漁を体験できるプログラムなど、他に無い資源を活用した独自性の高い体験コンテンツを開発し、差別化を図る。
- AR(拡張現実)やクリエイター目線の動画制作を行い、これまでにない映像を発信し、他地域との差別化を図る。
- 将来的な担い手育成のため研修生を雇用し「農泊コンシェルジュ」として育成していく。



ぶどうづくり体験



わかさぎ漁のプログラム開発



ARを使ったコンテンツ作成

【取組内容】

- 「農泊」を主軸とした新たな戦略策定と実施体制整備
- 山中湖村の魅力が詰まった5つの滞在型農泊プログラムの開発
 - ・ぶどう栽培、観光農園、ワカサギ漁
 - ・林業、狩猟ツーリズム等
- 花の都公園を拠点とした「スモール農業都市構想」の実現に向けた取組
- 地域の伝統食、特産品や未利用資源を活用した新商品や新メニューの開発
 - ・山中湖産ワインの開発、ぶどう果皮を再利用した商品開発、おつけだんご
 - ・日本一の朝食開発、ジビエメニュー、革製品開発
- 新たなツーリズム「発信型観光」プログラムの確立
 - ・より魅力的な発信ができる「場所」、「シチュエーション」、「体験プログラム」を創出し、それらを発信したいと思わせる仕組みを構築
- AR(拡張現実)の導入やクリエイター目線の動画制作
 - ・コンテンツ数5種
- 「農泊コンシェルジュ」の確保・育成に向けた研修生の受け入れ



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
 WiFi	 WC	 ¥	 Globe	 Aa	 Globe